

京都に存在する百四十二ヶ所の社寺に對し、消防設備として消火栓を設けたしどの内容にて、是に要する經費六萬四千三百八十九圓を如何なる方法に依り捻出し調達すべきかと謂ふ問題を協議したるものにして、特別委員若干名を置き實行方法の具體案を作り差し實行することに一決し、會議終了して晚餐會に生も亦列席の榮を與へられたり、藤野氏は名古屋に出向途中再會の約を爲し、生は大阪に戻り、京都の會合は洵に意義ある事にて参考資料を得たるに對しては國家は唯單に指定したるに止めず、更に進んで積極的に維持保護すべきであるとは生の持論なり、殊に京都、奈良、平泉の中尊寺の如き世界的文化の存在地は一日も早く防火、消防の完備を要求して止まさるものなり。

行ふことをも初めて、視ることも勿論初めなれば、臨席の約諾を爲し、其夜は昔吉田通れば二階から招くの唄ある土地と云ふ處の料亭に案内を受け美形の踊りの餘興あり、席に消防功勞者前消防組頭市参事會員石田又市、警火宣傳劇代表者鈴木信兩氏と市田、佐藤藤野三氏と生三六人なり種々消防上の談話を交換し明日視察すべき箇所等を打合せ、某旅館に引揚げたるは十時頃なりき、明ければ六日午前六時自動車を飛ばし豊川稻荷に詣である、山門は特別保護遺造物

三 人 殺 し を
逮 捕 す る ま で